

'13	社	1
中		7

〔注〕 答えはすべて、解答用紙の定められたところに記入しなさい。

1 つぎの文を読んで、あとの1から6までの各問いに答えなさい。

参政権は、人々が社会へ参加していく上でとても重要な権利です。参政権の歴史で言えば、民主的な国家とされる古代アテネにおいても、すべての人々が参政権を持っていたわけではなく、政治への参加には制限がありました。19世紀や20世紀の時代においても、すべての人々が自由に政治参加できたわけではありません。21世紀の今日でも、国や地域によっては政治参加の自由と平等とが確保されていないところがあります。

日本でも、国政選挙におけるいわゆる「一票の重さ」をめぐる、大きな議論がおこっています。一票の格差が最大で2.30倍となった2009年夏の衆議院選挙をめぐり、現行の小選挙区比例代表並立制のもとで初めての「違憲状態」判決が、2011年3月最高裁によって出されています。選出する有権者数と選出される議員数との間に、不均衡が生じているわけです。世論調査（朝日新聞による）によれば、「1倍に近くする」20%、「2倍より小さければよい」51%、「2倍以上でもよい」13%と、小選挙区における一票の格差2.30倍の是正を求める声が高いのが現状です。

一票の格差の問題は、小選挙区の現状見直しの問題でもありますが、だからといって、現行の小選挙区比例代表並立制を、すべて比例代表選挙にすればうまく解決するのかというと、そうともいえない難しい問題が潜んでいます。有権者が各政党に投票する比例代表選挙を例にとりながら、選挙制度について考えてみましょう。

比例代表選挙にもいろいろな方式があります。ドイツやスイスの比例代表制で用いられているのは、ヘア・ニーマイヤー方式という選出のやり方です。例えば、議員定数10議席の選挙において、各政党が獲得した票数を、A党2700票、B党2000票、C党1800票、D党900票、E党600票とします。この方式に従うと、総投票総数は8000票となり、その総数を議員定数10議席で割ると、800という数字が1議席を獲得するための平均的票数となります。そこで800票ごとに議席を割り振れば、平等に各政党に議席を割り当てたことになりそうですが、そうはうまくいかないのです。第一に800票も集められない政党もあるし、集めた票数が800で割りきれない場合もあるのです。ヘア・ニーマイヤー方式では、各党が取った獲得票数を800で割り、各党から選出される議員数の根拠となる「基数」と呼ばれる数字をまず算出します。例えばB党の場合、2000を800で割り、基数は2.5となり、この場合、商の整数の部分「2」がB党に自動的に割りあてられる議席数となります。小数点以下の数字「0.5」はとりあえず議席には換算されず、保留の扱いにしておきます。こうして商の整数の部分で各政党に議席数を配分した後、残っている議席を、今度は商の小数点以下の数字の大きい順番で再度配分して、すべての議席が確定していくのです。これが、ヘア・ニーマイヤー方式という比例代表選出のやり方で、表で確認すると下のようになります。

<表1>ヘア・ニーマイヤー方式による比例代表選出（議員定数10名 総投票数8000票）

政党名	A党	B党	C党	D党	E党
獲得票数	2700	2000	1800	900	600
基数	3.375	2.5	2.25	1.125	(①)
自動的に割り当てられる議席数	3	2	2	(②)	(③)
余りの数	0.375	0.5	0.25	0.125	(①)
残りの議席	0	1	0	0	1
各党獲得議席数	(④)	3	2	1	(⑤)

日本の選挙制度はすでにのべたように小選挙区比例代表並立制がとられています。1選挙区ごとに1名選出する小選挙区制から300名を選び、比例代表制から180名を選ぶ仕組みになっています。日本の比例代表制では、ドント方式というやり方が用いられています。ドント方式について、議員定数10議席、各党が獲得した票数を、A党2700票、B党2000票、C党1800票、D党900票、E党600票と上記の場合と同じように想定して考えてみましょう。この方式に従うと、1

'13	社	2
中		7

番目の議席の獲得は、それぞれの政党の獲得票数をまず1で割り、その数の多い政党が最初の議席を獲得することになります。この場合、最初の議席は、2700を1で割ったA党が獲得します。A党の2議席目は、獲得票数を2で割った数字となり、その数字が他の政党の1で割った数字よりも多ければ議席獲得となります。しかしこの場合、A党の2番目の獲得議席の目標数字は2700を2で割った1350となり、B党やC党の獲得票数を1で割った数、2000や1800の方が優越しているため、2番目の議席と3番目の議席はそれぞれB党とC党が獲得することとなります。D党やE党の数は900と600であるため、この段階では議席を獲得することはできません。4番目の議席は、A党の2700を2で割った1350が優越しているため、A党が獲得することとなります。こうして獲得する議席を増すごとに、割る数（除数とも言う）が1つずつ大きくなり、各党が獲得した票数を除数で割った各数字と比較することで、議席が決定していくこととなるのです。表で確認すると下のようになります。なお、表中の数字は、割り切れない場合小数点第1位を四捨五入して出しています。

<表2> ドント方式による比例代表選出（議員定数10名 総投票数8000票）

政党名	A党	B党	C党	D党	E党
獲得票数	2700	2000	1800	900	600
除数1で割ると	2700	2000	1800	900	600
除数2で割ると	1350	(⑥)	900	450	300
除数3で割ると	900	667	600	300	200
除数4で割ると	(⑦)	500	450	225	150
各党獲得議席数	(⑧)	3	(⑨)	1	(⑩)

ヘア・ニーマイヤー方式とドント方式を比較すると、同じ比例代表選挙とはいえ、選挙結果に違いが生じてくるのがわかります。どのような比例代表制を導入するかで、獲得議席数にも影響が生じてきます。

上記の例のように、選挙の結果は選挙制度によって大きく影響をうけます。小選挙区制度だと、どうしても大政党に有利となり死票も増えます。比例代表選挙制度の場合、死票が少なくなり広範な民意を代表する可能性が増しますが、少数政党が乱立して全体として政治がうまく機能しない場合も想定されます。日本では、小選挙区制と比例代表制の二つが並立した方式が取られています。選挙結果は、日々の暮らしに大きな影響を与えるため、選挙制度をどのようにしていくのかは、非常に重要で慎重に考えなければならない問題です。

しかしながら、選挙の最大の課題は、実はわれわれ有権者にあるといっても過言ではありません。どんなに素晴らしい選挙制度であったとしても、独裁者の登場や愚劣な政治を許してしまうようなことが起こってくるのです。国勢調査（平成22年実施）から見ると、家族のスタイルは現在大きく変わりつつあります。全世帯数5092万世帯の内、一人世帯は1588万世帯を占め、前々回の平成

12年の調査や前回の平成17年の調査との間で比較すると、一人世帯数の増加は顕著になっています。国際化や情報化などの進展とともに、国民としての結びつきが弱くなり、一人一人がばらばらになりやすい今日のありようが見えてきます。生活の不安定さに加え、そうした社会の変化を映すように、情緒にうったえたり、感情をあおったりして、獲得票数の増大をめざす選挙手法が昨今目立ってきているのが実情です。国民生活の変化が大きく生じている今だからこそ、政治に一層のきめ細かな施策が求められているのです。どの政党がどのような政策をうったえ、その結果どんな将来が約束されるのか判断した上で、投票行動をとらなければいけません。リンカーンの「人民の、人民による、人民のための政治」は、民主政治のあり方をとても良く象徴する言葉として取り上げられますが、この言葉は日本国憲法前文にもいかされ、普遍的原理であるともうたわれています。私たちはもう一度日本国憲法前文に立ちかえり、選挙制度も含め、民主政治のあり方について、かみしめなければいけないかもしれません。

'13	社	3
中		7

- 1 本文に書かれている内容と合っているものを、つぎのアからクまでの中から四つ選び、その記号を書きなさい。
- ア 古代アテネの民主制では、アテネで暮らすすべての人々に政治参加の権利が認められていた。
- イ 国勢調査は5年に一度実施されている。
- ウ 日本の選挙制度は、かつてはすべて比例代表制であった。
- エ 一票の格差の是正を求める要望は高い。
- オ 小選挙区制に比較し、比例代表制で議員が選出された方が、広範な民意を代表する可能性は高くなる。
- カ ドント方式の方がヘア・ニーマイヤー方式より、少数政党が議席を獲得する可能性は高くなる。
- キ 世論調査によって政治が影響を受け、政策が変更される場合がある。
- ク 現在の日本社会は、国民としての結びつきが弱くなり、一人一人がばらばらになりやすくなっている。
- 2 国政選挙に関連してのべた文として正しいものを、つぎのアからオまでの中から二つ選び、その記号を書きなさい。
- ア 一票の格差を是正する法律が国会で制定され、是正された選挙区割りのもと、2012年12月に総選挙が実施された。
- イ 前回参議院通常選挙は、2010年に行われた。
- ウ 国会の両議院は、選挙で選ばれた議員によって組織されると、憲法で定められている。
- エ 2012年は、日本ばかりでなくフランス・ロシア・エジプト・アメリカ・韓国などで、選挙を通して政権交代が生じる年となった。
- オ 公職選挙法の改正により、身体の不自由な人々を考慮したネット方式による投票が可能となった。
- 3 ヘア・ニーマイヤー方式による比例代表選出に関連して、本文<表1>中の( ① )から( ⑤ )までに、あてはまる数字を書きなさい。
- 4 ドント方式による比例代表選出に関連して、本文<表2>中の( ⑥ )から( ⑩ )までに、あてはまる数字を書きなさい。
- 5 国民生活の変化に関連してのべた文として正しくないものを、つぎのアからカまでの中から二つ選び、その記号を書きなさい。
- ア 先端産業の発展を図り、国民生活の多様化を支えるため、2012年の通常国会で消費税率の上昇が決定された。
- イ グローバル化の波の中で、液晶テレビや半導体などの生産低下のため、電機メーカーでは大量の解雇が生じている。
- ウ すべての世帯のうち、一人世帯は3割を超える。
- エ 高齢化にともない、老人が老人を介護するケースが増えている。
- オ 貿易で稼ぐ外貨収入が増えているため、海外旅行をする人々の増加にもかかわらず、日本が世界から得るお金は増大している。
- カ 生活保護を受給する人々は200万人を超え、受給者の増加が続いている。
- 6 日本国憲法前文に定められている内容として正しくないものを、つぎのアからオまでの中から一つ選び、その記号を書きなさい。
- ア わたしたちは、ふたたびむごたらしい戦争がおこらないようにすることを誓って、この憲法をつくった。
- イ すべての国民は、個人として尊重される。
- ウ いずれの国も、自分の利益だけを考え、他国のことを無視したりわすれるようなことがあってはならない。
- エ 日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動する。
- オ 平和と正義を愛する世界の人々を信頼して、平和を守っていききたいと決意した。

'13	社	4
中		7

- 2 千葉県佐倉市にある国立歴史民俗博物館に行ったことがありますか。そこには第1展示室「原始・古代」から第6展示室「現代」までの6つの展示室があります。残念ながら第4展示室「民俗」は現在リニューアル中で閉館です。その中のいくつかの部屋を訪れてみましょう。各コーナーの説明文は同博物館の子ども用ホームページの説明文から引用しました。あとの1から11までの各問いに答えなさい。

第1展示室の【稲と倭人】コーナー

米作りは、朝鮮半島から伝わってきたものです。このころ日本列島に住んでいた人たちは中国の人たちから倭人とよばれていました。

- 1 米作りは、朝鮮半島から伝わってきたとあります。米作りなどさまざまなものを伝えた人たちを何と呼んでいますか。漢字3文字で書きなさい。
- 2 弥生時代の倭人の社会についてのべた文として正しいものを、つぎのアからカまでの中からすべて選び、その記号を書きなさい。
- ア ワカタケル大王がいた。
- イ 卑弥呼という女王がいた。
- ウ 「古事記」や「日本書紀」がつくられた。
- エ 漢字や仏教が伝わってきた。
- オ 巨大な前方後円墳をつくっていた。
- カ 吉野ヶ里で集落がつくられていた。

第2展示室の【王朝文化】コーナー

京都に平安京がつくられ、それまでの中国にならった文化から、そこを舞台に日本的な文化が花開きました。ひらがなやカタカナが生まれました。ここでは貴族たちが、どのような生活をおくったのかを中心に展示しています。

- 3 日本が模範としていた中国の国名（王朝名）を書きなさい。ひらがなで書いてもかまいません。
- 4 平安時代の貴族たちがおくっていた生活についてのべた文として正しいものを、つぎのアからキまでの中からすべて選び、その記号を書きなさい。
- ア 東大寺の大仏をつくり、極楽浄土を願った。
- イ 鑑真を招くために、力を尽くした。
- ウ 儀式や年中行事を大切にした。
- エ 和歌や絵合わせ、けまりなどの遊びを楽しんだ。
- オ 寝殿造りの広大な屋敷に住んでいた。
- カ 床の間に水墨画を掛け、鑑賞した。
- キ 茶の湯を楽しんだ。

'13	社 _____	5
中		7

## 第2展示室の【大航海時代のなかの日本】コーナー

東アジアには、ヨーロッパから（ A ）と（ B ）をはじめとするたくさんのものが伝わりました。ちょうど戦国時代だった日本では、戦争で（ A ）を使うようになりました。それから日本がどうか変わっていったかを展示しています。

5 <sup>くうらん</sup>空欄（ A ）にあてはまる語句を書きなさい。ひらがなで書いてもかまいません。また空欄（ B ）にあてはまる語句を、つぎのAからCまでの中からすべて選び、その記号を書きなさい。

A <sup>きぬ</sup>絹    I <sup>びわ</sup>琵琶    U キリストの像    E カステラ    O ガス灯    C ジャガイモ

6 ヨーロッパの国々がアジアに船でやってくるようになる時代を大航海時代と呼んでいます。このころ日本にやってきた国を、つぎのAからCまでの中から三つ選び、その記号を書きなさい。

A オランダ    I フランス    U ドイツ    E スペイン    O ポルトガル  
C ロシア    K トルコ

## 第3展示室の【国際社会のなかの近世日本】コーナー

17世紀のはじめ、徳川家康が江戸に幕府を開き、江戸が政治の中心になりました。江戸時代の日本は、「鎖国」をしていたと思われがちですが、世界との交流がなかったわけではありません。<sup>ながさき</sup>長崎でオランダや中国と貿易をしたり、<sup>おきなわ</sup>朝鮮、現在の沖縄である琉球、アイヌの人びとと、人やものや情報が行き来し、国際社会に開かれていました。

7 オランダと貿易をした場所を漢字で書きなさい。

8 朝鮮・琉球・アイヌに関してのべた文として正しいものを、つぎのAからCまでの中からすべて選び、その記号を書きなさい。

- A 朝鮮からの通信使は、<sup>だいが</sup>將軍の代替わりのときに江戸にやってきた。  
I 朝鮮からの通信使は民間の人々と接することはなかった。  
U 琉球王国は江戸幕府によって<sup>せいふく</sup>征服された。  
E 琉球王国は首里を都としていた。  
O アイヌは17世紀にシャクシャインを中心に反旗をひるがえした。  
C アイヌは<sup>つがるはん</sup>津軽藩をとおして交易を行っていた。

'13	社	6
中		7

第5展示室の【産業と開拓】コーナー

明治政府は新しい国をつくるために工業やいろいろな産業を発展させようと考えました。ここでは、交通の整備、当時の生糸や製鉄工場<sup>きいと</sup>のようす、そして北海道がどうかわっていったかを中心に展示しています。

9 新しい国をつくるための工業として政府が群馬<sup>ぐんま</sup>県につくった工場名を書きなさい。また重工業をおこすため、製鉄工場として福岡<sup>ふくおか</sup>県につくった工場名を書きなさい。ひらがなで書いてもかまいません。

10 明治時代の産業や社会についてのべた文として正しいものを、つぎのアからカまでの中からすべて選び、その記号を書きなさい。

ア 新聞やラジオといった新しいメディアがあらわれた。

イ 渋沢栄一<sup>しぶさわえいいち</sup>らが株式会社をつくった。

ウ 関税を高くできず、安い外国の品物が入ってきた。

エ 東京に地下鉄ができた。

オ 「欲しがりません勝つまでは」という標語<sup>ひょうご</sup>ができた。

カ 人体<sup>かいぼう</sup>を解剖し、医学に役立てることがはじまった。

第6展示室の【戦後の生活革命】コーナー

戦争が終わって10年くらいたったころから、日本は急速に経済が発展しました。大都市のまわりには工業地帯がつくられ、地方からたくさんの人たちが働きにきました。電気洗濯機<sup>せんたくき</sup>や電気冷蔵庫などの電化製品が全国に広がり、便利な生活はこのころの人びとのあこがれとなりました。

11 戦争が終わって10年くらいの間のできごとを、つぎのアからキまでの中からすべて選び、その記号を書きなさい。

ア 焼跡<sup>やけあと</sup>のなかで、学校の授業は青空教室の場合もあった。

イ アジアから何百万人もの人が日本に帰ってきた。

ウ サンフランシスコでアメリカなどと平和条約を結んだ。

エ 東京でオリンピック大会が開かれた。

オ 東海道新幹線が開通した。

カ 朝鮮半島の南北の国どうしで戦争が起こった。

キ 中国との間で平和友好条約が結ばれた。

'13	社	7
中		7

3 つぎの表1は、各項目における全国の都道府県の1位と47位を示したものである。また表2は表1に示した各都道府県の食料自給率を示したものである。この2つの表に関するあとの1と2の問いに答えなさい。

〈表1〉

項目	1位	47位
面積	( A )	( ① )
人口	東京都	( ② )
出生率	( B )	( ③ )
高齢者人口率	( ③ )	( B )
農業生産額	( A )	東京都
なす収穫量	( ④ )	( A )
工業生産額	( ⑤ )	( ④ )
工場数	( ⑥ )	( ② )
森林面積	( A )	( ⑥ )

〈表2〉

都道府県	都道府県別食料自給率
( ① )	37%
( ② )	64%
( ③ )	171%
( ④ )	48%
( ⑤ )	13%
( ⑥ )	2%
( A )	173%
( B )	34%
東京都	1%

[統計は2010年あるいは11年 出典は『データでみる県勢』]

1 つぎのアからカの文は、( ① ) から ( ⑥ ) の都道府県のいずれかに関して説明したものである。

- ア 全国一の生産額をあげる [ ] 工業地帯の中心となっている。
- イ 梨の生産が多く、日本海に面した [ ] 砂丘では、らっきょうなどの栽培が行われている。
- ウ 車と列車の両方が通行できる [ ] 大橋によって本州と結ばれている。
- エ 北緯40度と東経140度が交わり、[ ] 半島のつけねにある八郎潟は、米の生産地として知られている。
- オ 豊臣秀吉が [ ] 城を築城し、江戸時代は「天下の台所」といわれて栄えた。
- カ [ ] 平野にはビニールハウスがたちならび、野菜の促成栽培が行われている。

- (1) アからカの文の [ ] にあてはまる語句を書きなさい。ひらがなで書いてもかまいません。
- (2) アからカの文にあてはまる都道府県を①～⑥までの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

2 ( A ) と ( B ) に入れるのもっとも適切な都道府県名を書きなさい。ひらがなで書いてもかまいません。

'13 — 中	社
---------------	---

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

解 答 用 紙

1

1					
2					
3	①	②	③	④	⑤
4	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
5					
6					

評 点	
--------	--

2

1		2	
3		4	
5	A	B	
6			
7		8	
9	群馬県		福岡県
10			
11			

3

1	ア	(1)	(2)
	イ	(1)	(2)
	ウ	(1)	(2)
	エ	(1)	(2)
	オ	(1)	(2)
	カ	(1)	(2)
2	A	B	

'13	社	2
中		7

# 訂正

番目の議席の獲得は、それぞれの政党の獲得票数をまず1で割り、その数の多い政党が最初の議席を獲得することになります。この場合、最初の議席は、2700を1で割ったA党が獲得します。A党の2番目の議席は、獲得票数を2で割った数字となり、その数字が他の政党の1で割った数字よりも多ければ議席獲得となります。しかしこの場合、A党の2番目の獲得議席の目標数字は2700を2で割った1350となり、B党やC党の獲得票数を1で割った数、2000や1800の方が優越しているため、2番目の議席と3番目の議席はそれぞれB党とC党が獲得することとなります。D党やE党の数は900と600であるため、この段階では議席を獲得することはできません。4番目の議席は、A党の2700を2で割った1350が優越しているため、A党が獲得することとなります。こうして獲得する議席を増すごとに、割る数(除数とも言う)が1つずつ大きくなり、各党が獲得した票数を除数で割った各数字と比較することで、議席が決定していくこととなるのです。表で確認すると下のようになります。なお、表中の数字は、割り切れない場合小数点第1位を四捨五入して出しています。

<表2> ドント方式による比例代表選出(議員定数10名 総投票数8000票)

政党名	A党	B党	C党	D党	E党
獲得票数	2700	2000	1800	900	600
除数1で割ると	2700	2000	1800	900	600
除数2で割ると	1350	( ⑥ )	900	450	300
除数3で割ると	900	667	600	300	200
除数4で割ると	( ⑦ )	500	450	225	150
各党獲得議席数	( ⑧ )	3	( ⑨ )	1	( ⑩ )

ヘア・ニーマイヤー方式とドント方式を比較すると、同じ比例代表選挙とはいえ、選挙結果に違いが生じてくるのがわかります。どのような比例代表制を導入するかで、獲得議席数にも影響が生じてきます。

上記の例のように、選挙の結果は選挙制度によって大きく影響をうけます。小選挙区制度だと、どうしても大政党に有利となり死票も増えます。比例代表選挙制度の場合、死票が少なくなり広範な民意を代表する可能性が増えますが、少数政党が乱立して全体として政治がうまく機能しない場合も想定されます。日本では、小選挙区制と比例代表制の二つが並立した方式が取られています。選挙結果は、日々の暮らしに大きな影響を与えるため、選挙制度をどのようにしていくのかは、非常に重要で慎重に考えなければならない問題です。

しかしながら、選挙の最大の課題は、実はわれわれ有権者にあるといっても過言ではありません。どんなに素晴らしい選挙制度であったとしても、独裁者の登場や愚劣な政治を許してしまうようなことが起こってくるのです。国勢調査(平成22年実施)から見ると、家族のスタイルは現在大きく変わりつつあります。全世帯数5092万世帯の内、一人世帯は1588万世帯を占め、前々回の平成

12年の調査や前回の平成17年の調査との間で比較すると、一人世帯数の増加は顕著になっています。国際化や情報化などの進展とともに、国民としての結びつきが弱くなり、一人一人がばらばらになりやすい今日のありようが見えてきます。生活の不安定さに加え、そうした社会の変化を映すように、情緒にうったえたり、感情をおおったりして、獲得票数の増大をめざす選挙手法が昨今目立ってきているのが実情です。国民生活の変化が大きく生じている今だからこそ、政治に一層のきめ細かな施策が求められているのです。どの政党がどのような政策をうったえ、その結果どんな将来が約束されるのか判断した上で、投票行動をとらなければいけません。リンカーンの「人民の、人民による、人民のための政治」は、民主政治のあり方をととも良く象徴する言葉として取り上げられますが、この言葉は日本国憲法前文にもいれられ、普遍的原理であるともうたわれています。私たちはもう一度日本国憲法前文に立ちかえり、選挙制度も含め、民主政治のあり方について、かみしめなければいけないかもしれません。